

# 一般質問

## 9月入学制議論と 子どもの学習機会確保



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①9月入学制の是非について全国知事会、市長会、町村会と連携を図って調査研究していただきたい②緊急事態でも等しく学ぶことができる学習環境整備をどう考えるか教育長に問う。

**答** ①高等教育の在り方研究会をつくるなど、幅広い議論を国全体でやるよう知事会の中で発言していく②(教育長)学校が求められている役割を認識して緊急事態という逆境を子どもたちの学びに変えていけるような県の教育でありたい。関係機関と共有し連携して取組を進めたい。

6月定例会では、28人の議員が一般質問を行いました。  
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

また、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会 議事録

検索



### 会派正式名称

- 【自由民主党】  
鳥取県議会自由民主党
- 【会派民主】  
会派民主
- 【公明党】  
公明党鳥取県議会議員団

### 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁も含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

## 県立高校の熱中症対策 子供たちにチャンス



松田 正 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** エアコンの使用により契約電力をオーバーした部分については補填すべきではないか。

**答** (教育長)しっかりと予算を確保させていただきながら、できる限り対応していく。

**問** 高校でバンド活動等をしている子たちの発表の場は、学校祭が縮小された場合ほぼなくなる。文化振興の観点からも県として手助けすべきではないか。

**答** 大人たちの責任において、子供たちの最後の発表の場を確保してあげたい。できる限り支援をさせていただきたい。

## スーパーシティ構想実現 の取組について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** コロナ後の新しい生活をより良いものにするために、住民参画、住民目線による未来社会の実現を目指すスーパーシティ構想に他地域に先駆けて取り組むべきだが知事の所見は。

**答** 議員からこのような将来構想について度々提言いただいているが、このスーパーシティ構想への取組により、重点的な規制緩和が図られ、地方創生の交付金などの重点配分によって財源的にも事業が進めやすくなるため、早速、県内市町村と実証の相談に入りたいと考える。

## ①広報 ②副業 ③ICT教室 ④内部留保 ⑤消費



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①経済回すためコロナ関連の丁寧な広報を②一次産業の人手不足を補う副業奨励を③面会制限や孤独解消にオンライン会話等のICT教室を④大企業が内部留保を貯めなくても良い政策転換を国へ要望⑤県や市町村職員の率先した県内消費の奨励を。

**答** ①確度の高い情報であれば随時提供したい②企業・産業同士の支え合いネットワーク構築を応援③市町村や施設に勧める④国全体の運動へと政府に申し上げる⑤内発的な職員の動きを応援していく。

# 一般質問

## ①②コロナ終息を見据えて ③再犯防止の活動



**尾崎 薫 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**問** ①診療所・介護施設の看護師対象に感染症認定看護師による研修をすべき②鳥取県の自然、文化を実感しつつ働けるICTの推進を③再犯防止のための社会生活自立支援センターの継続と運営費の支援が必要では。

**答** ①看護協会と研修会を実現させていく②テレワークが通常化するのを産業活力戦略として取り上げる。文化芸術支援は鳥取県が道を開いた。県として全力を挙げていく③国にセンターの継続支援を要望し、現場の声を聞き労働環境をサポートする。

## 起立性調節障害(※)の正しい理解と周知



**濱辺 義孝 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ひきこもり、ニート、フリーターになった初期原因は起立性調節障害が深く関わっている場合がある。治療等子ども達を守る体制構築が重要。医師会への働きかけについて知事に問う。また、安心して学べる環境づくりの取組について教育長に問う。

**答** 本県でも動き始めており、これから体制もしっかり取りながら、病気にアプローチを強めていきたい。(教育長)知事部局、医師会の力を借り、起立性調節障害の理解を深め、適切な対応ができるように取り組む。

## 新型コロナウイルス 地方公務員の懲戒処分



**坂野 経三郎 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**問** 無症状感染者に対処するため抗原検査や抗体検査をすべき。

**答** 一定程度意味があり、疫学調査などと併用して検討する。

**問** 学生、女性や非正規社員にしわ寄せが来ないように、雇用創造の後押しをするべきだ。

**答** 機動的に対処していく。

**問** オンラインによる移住や就活のフェアや相談を活用すべき。

**答** 是非とも取り入れていく。

**問** 黒川元検事長の処分事例が、地方の先例となることを懸念。

**答** 本県は懲戒処分を行う委員会でも中立性を保ち運用を進める。

## コロナ禍から学ぶ 保育・介護の処遇改善



**銀杏 泰利 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ①人間の手が必要な社会福祉の仕事は、社会的になくしてはならないもの。保育士、介護士の処遇改善は遅れており、全産業の平均賃金を上回る賃金体系が必要。処遇改善を進めるべき②保育の縮小等で、職員の賃金や年次有給休暇等の取扱いは。

**答** ①政府のほうにも我々の総意を届けて要請をする。現場でもそうした処遇の改善や勤務環境の向上に貢献していく②雇用側の都合で休業させる場合は年次有給休暇の取得ではなく休業手当を支払う必要がある。

## 健康作りのモデル事業 新型コロナの取組



**西川 憲雄 議員**  
選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**問** ①3年経過した健康づくりのモデル事業は新たなステージへ向かうべきでは?②コロナ対策の必要性は十分理解しているが、その財源は全て赤字国債で賄われている。取り組む政策は将来負担する若者が理解し得る政策であるべきと考えるか?

**答** ①成功例が出来てきたので横展開する局面に入っていると考える②全国知事会としてコロナ対策と同時に財政の健全化も提言している。感染症対策と経済社会活動の両面戦略を成功させなければならない。

## ①風評被害 ②わかとり夢の大会 ③光回線整備



**常田 賢二 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①今後も感染者が立ち寄った飲食店名を公表するのか②夢の大会を盛り上げるためにも、高校生が主体的に関わった活動は考えていないか③光回線整備が遅れた市町村に国・県の補助金を活用するよう働きかけてほしい。

**答** ①情報を明らかにする弊害も大きく、死活問題になる可能性も。もう一度慎重に検討する②創造的に高校生らしい盛り上げ方を映像・配信も含めやっていければ③鳥取市だと今なら市の負担15億円が2億数千円まで減る。倉吉市・南部町にも働きかけている。

※ 起立性調節障害：体の機能を調節する自律神経系の病気。

# 一般質問

## コロナ禍での県経済の見通しと対策について



**川部 洋 議員**  
選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

**問** 今後リーマンショック以上の大幅な経済の後退が予測されるが、鳥取県経済をどうしていくのか？コロナの収束が見通せない中で、融資等の延命措置だけではもたないのではないかと？

**答** 大変厳しい状況が続くが、ワークイン開発までは融資や助成でつなぐ。しかし、全部は補填できないので、新しい生活様式の下で経済社会活動のある程度認めていく。コロナ禍での新しい産業の創造も必要だが、持ちこたえるサポートの両方が相まってできることだと思っている。

## 県民の足地域公共交通を守る緊急コロナ対策



**山口 雅志 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** 厳しい経営環境にあるバス事業者への支援策は？

**答** 総額3～4億円の概算払いで前倒し給付の補助金の執行、助成制度を用いた観光商品開発、貸切バス増車支援、バス車両衛生対策支援、バス広告による収入支援、金融機関にも支援を求める。また、地元による応援アピール・乗車需要喚起策として県職員による通勤時のバス利用促進を図る。

危機対応として、バス路線代替を含め機動的に動き、現場の声を伺いながら対応する。

## 新型コロナ感染症の感染拡大への備え等



**藤井 一博 議員**  
選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①新型コロナ感染症の第二波感染拡大への備えについて②新型コロナ感染症に関連した国の補正予算が県財政に与える影響について③災害時の避難所運営の課題について。

**答** ①PCR検査等を活用した初動での感染ルートの遮断、病床の確保、高齢者施設での施設内感染予防など体制を構築する②歳入減、歳入欠陥はやむを得ない状況。減収補填債の改正など政府に求めていく③専門家チーム内に感染症管理に長けた人材を加える等、運営体制を備える。

## コロナ第二波に備え取組の総括を



**伊藤 保 議員**  
選挙区 東伯郡  
会派 会派民主

**問** 5月25日に緊急事態宣言が全面解除されたが、第二波、第三波の発生が懸念されている。今議会でもいろいろな角度で議論されているが、第一波が収束しつつある今こそ、県庁各部署の感染症対策が十分であったのか、過度な対応がなかったのか等、検証と総括をすべきでないか。

**答** 第二波に備え、しっかりと状況総括し、戦略を見直しているところ。県庁各部署にも呼びかけ、より良い対策に結び付けていきたい。

## ・コロナ禍の産業振興 ・道交法改正について



**広谷 直樹 議員**  
選挙区 岩美郡  
会派 自由民主党

**問** ①新型コロナウイルス禍の中、安心・安全を担保しいかにして観光誘客につなげていくか②入国制限下での外国人技能実習生の沖底漁船員確保対策を国へ働きかけを③道交法改正によりあおり運転が厳罰化になったが、抑止に向けて県警の決意を。

**答** ①県ガイドラインに沿い、県内から中国地方、近畿地方へ観光需要を掘り起こす②全国的な問題であり政府に対策を求め関係方面にも働きかける③(警察本部長) 改正内容をしっかり周知し厳正、的確に対応する。

## 米子市祇園町の高潮対策



**内田 隆嗣 議員**  
選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 異常気象で中海の高潮時の雨水排水対策や樋門操作に困難が生じている。祇園町の4つの樋門は、米子市が自治会に委嘱しているが負担が大きい。高潮と大雨が重なった場合、道路の冠水が発生している。ゲートの電動化、遠隔操作、常設ポンプの設置ができないか。また、祇園町承水路(※)管理道の安全対策として花壇の撤去、路面舗装、転落防止柵の設置ができないか？

**答** 地元の声を聞きながら、今後必要な対策を検討してまいりたい。

※ 承水路：背後地からの水を遮断し、区域内に流出させずに排水するための水路。

# 一般質問

## コロナ禍における ①食 ②農業 ③地域



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①巣ごもり応援事業の増額は考えているのか？②加工品の需要が高まると考える、県がコーディネートする仕組みづくりが必要では？③他補助金とイベント等開催支援事業と組み合わせはできるのか？

**答** ①増額することは考えられる。②ビジネスモデルが変わりつつある、検討する。③組み合わせをして助成をしていくという体制を取った。十分関係者と話し合いをしながら、円滑に地域のイベントが執行できるようにサポートする。

## 新型コロナ、米軍機訓練、 島根原発巡視問題



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①新型コロナA病院減収補填B空床補償5万円以上C発熱外来の医療従事者手当D10万円再スタート事業は売上30%未満も対象とし繰返し支援をE固定資産税減免F県緊急雇用G学生緊急給付金2次募集の周知②米軍機飛行訓練中止③島根原発巡視未実施問題中電が住民説明を。

**答** ①A国要望したB5～30万円に上がったC6月補正で対応D様々な制度を組合せて支援E今年度猶予・来年度減免F機動的に対応G学校へ働きかける②国に働きかけ続ける③強く要請。

## 県立厚生病院の 水害対策を



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市  
会派 会派民主

**問** 今回の厚生病院の浸水対策は、100年に1度の水害では、時間稼ぎ策にとどまるのでは。さらに、3階の非常用電源の能力強化が必要。水害に強い病院への抜本対策も検討すべきだ。

**答** (病院管理者) 床上1mの浸水に備える止水設備や、手術室・分娩室等への給電を行い、被災後3日程度の機能維持を図る。今後の対策として、非常用電源の能力強化や医療ガスの確保などを検討する。抜本対策としては別棟整備に数十億円必要で、病棟建替時の課題としたい。

## 県有資産の活用について



野坂 道明 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 文化観光施設の管理方法は、民間活力導入可能性調査の結果をふまえ議論すべき。工業用水は、東京都の事例も含め、更なる民間活力導入を検討すべき。県有施設・資産有効活用戦略会議での真剣な議論が必要。

**答** 秋ぐらいまでには導入可能性調査の報告をまとめ、県有施設・資産有効活用戦略会議に諮り議会に報告をしたい。収益性だけではなく民間の知恵と調和させるのがニュー・パブリック・マネジメント(※)であり、その方向性を探求してまいりたい。

## 地域で守る森林整備と 洪水対策について



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

**問** 平成30年の24号台風で倉吉市高城地域では大きな被害が発生した。県管轄河川の河床整備及び流木、河川に近接する山林の樹木管理についての整備方針と、地域住民組織による河川整備の可能性について伺う。

**答** 7月豪雨、西日本豪雨、台風24号災害後、河道掘削、樹木伐採を行い、令和2年度ベースで大体3分の2で着手している。残り200ヶ所位である。住民組織による河川整備については後押しするよう制度を作り地元と協議をさせていただく。

## 危機管理と都市計画、 コロナを克服するすべ



山川 智帆 議員

選挙区 米子市  
会派 無所属

**問** ①公共施設で「密」を避けるすべ、とくに学校、40人では2クラスだが39人だと1クラス。対策として、教員の加配が必要では？②私たちの命に関わる「産廃」会議。コロナ状況下では基礎疾患、お子さんを抱え、出づらの方の傍聴の配慮必要では？

**答** ①教員の予算、今後よく協議フォローアップしたい。(教育長) 学校の状況を勘案しながら加配措置等必要に応じて考えたい。②県内の別地区でも傍聴できる工夫、調整検討。

※ ニュー・パブリック・マネジメント：民間企業において行われる経営手法を公共部門に取り入れること。

